



移動知公開セミナーのお知らせ

文科省特定「移動知」総括班
東京大学人工物工学研究センター

移動知（いどうち、mobiligence）とは、生物が動くことで生じる「身体」と「脳」と「環境」の動的な相互作用によって適応的に行動する知が発現する、という一つの考え方であり、持続可能な人工物設計にとっても非常に重要な概念です。H17-21の5年間、文部科学省科研費特定領域研究「移動知」プログラムが行われ、多くの成果が出されました。その最終成果を報告するセミナーを、文部科学省特定領域研究「身体・脳・環境の相互作用による適応的運動機能の発現—移動知の構成論的理解—（略称：移動知）」と東京大学人工物工学研究センターの共催により、開催します。よろしく御参集の程、お願い致します。

日時：2010年9月10日（金曜日）9:30-18:00（18:30～意見交換会）

場所：東京大学弥生講堂一条ホール

参加費：無料（意見交換会に御参加いただく場合には別途3,000円をお願いします。）

参加登録：セミナーのみの参加の場合は不要です。意見交換会に参加いただく場合には、8/30までにota-sec@race.u-tokyo.ac.jp, ota@race.u-tokyo.ac.jp宛にお名前、御所属をお知らせください。

9:30-10:00 浅間 一（東大）

移動知：身体・脳・環境の相互作用による適応的運動・行動の発現メカニズムの理解
～研究成果の概略と展望～

10:00-10:30 近藤 敏之（東農工大）

感覚・運動連関の予期と運動学習

10:30-11:00 村田 哲（近大）

自他の身体認識の脳内メカニズム

11:00-11:30 小池 康晴（東工大）

視覚と触覚に関する環境情報の不一致を利用した学習と制御モデルに関する研究

13:00-13:15 土屋 和雄（同大）

歩行の、神経生理学、バイオメカニクス、ロボティクス—イントロダクション—

13:15-13:40 中階 克己（近大）

霊長類における歩行運動と大脳のかかわり

13:40-14:05 荻原 直道（慶大）

ニホンザル二足歩行運動のシステムバイオメカニクス

14:05-14:30 田熊 隆史（大工大）

生物規範型ロボットと適応的ロコモーション

14:45-15:15 青沼 仁志（北大）

個体間相互作用に基づく行動選択と社会適応の発現メカニズム

15:15-15:45 三浦 徹（北大）

シロアリの社会を通して見た『移動知』

15:45-16:15 倉林 大輔（東工大）

昆虫—機械融合系を用いた適応行動発現の理解

16:30-17:00 大須賀 公一（大阪大）

移動知の力学的共通原理の発見と展開

17:00-17:30 矢野 雅文（東北大）

随意運動の構成論的な発現機構

17:30-18:00 石黒 章夫（東北大）

真正粘菌変形体から探る移動知の発現メカニズム

18:30- 意見交換会（山上会館）